

地域枠、パートナー枠も設置

## 企業主導型の保育園開設

伊賀・どんぐり保育園

内閣府主導で行われている企業主導型保育事業として、伊賀市ゆめが丘3丁目に「どんぐり保育園」が4月に開園した。市保育幼稚園課では「地域枠のある企業主導型保育事業の保育園開設は市内では今年度初めてで、今後の動向を慎重に見ていきたい」としている。

「トナー枠」も設置され、純二代表取締役は「子どもがいるけど働きた

運営する株式会社中田商事の従業員以外にも「地域枠」として一般の人も預けることができ、定員は19人。また、提携企業の従業員の子どもを預かる「パ



▲「どんぐり保育園」の外観＝伊賀市ゆめが丘3で

い、という女性の就職の糸口になれば」と話していた。

## 「待機児童」現状と今後

入園資格があり、希望するものの保育施設に入れない「待機児童」は、伊賀市では4月1日現在0人で、昨年同時期と比べ3人減っている。

県子ども・福祉部によると、待機児童の定義は「保育認定を受けて利用の申し込みをしているが、利用していない子どもの数」だが、

「保育所以外で一時的預かりなどの保育を受けている」「他に利用可能な保育所があるが、特定の保育所を希望して待機している」などの児童は含まないという。

8月には学識経験のある委員などが保育や

子育て事情を話し合う「三重県子ども・子育て会議」が津市で開かれ、その場で4月時点の県内待機児童の確定数なども報告される予定。また、県内全域で問題となっている保育士の確保についても話し合われるという。